

外国人材およびグローバルビジネス に関する調査結果報告

■全回答数:24

■調査期間:2025年11月18日 ~ 12月19日

調査結果の概要

1. 外国人材について

■ 外国人社員の割合

全体の正社員数86,505名に対し、外国人材は9,166名で 約10.6%

■ 外国人材の分布と処遇分布

- ・分布:「中国」が 54.55% と過半数を占める。
- ・職位・処遇:職位は「課長クラス(27.27%)」が最多だが、「役員クラス」も18.18%存在。処遇は「日本人社員と同等待遇」が63.64% で主流となり、「ローカル毎に異なる基準(22.73%)」を大きく上回った。

■ 今後の活用等活用方針

前回:「拡大傾向」が53%、「現状維持」が42%。

今回:「拡大(大いに+やや)」は合計で 39.13% に減少し、「現状で推移する(43.48%)」が最多となった。

■ 目的・課題

- ・目的:「優秀な人材の確保(65.22%)」が最多。
- ・課題:前回同様、「意思疎通(54.55%)」と「転職(45.45%)」が上位を占める構造は変わっていない。

調査結果の概要

2. グローバルビジネスについて

■ 海外売上げ比率

海外売上比率は、「5%未満(41.18%)」と「ゼロ(35.29%)」を合わせると7割を超えており、海外売上が10%以上の企業は少数(約12%)にとどまっている。

■ ローカル展開(現地営業活動)

現地で営業活動を行っている地域(複数回答)としては、「米国」「中国大陸」「シンガポール等 ASEAN諸国・台湾」がいずれも58.33%で同率となり、これら3地域が主要な展開先となっている。

■ オフショア等調達

- ・日本向け調達(オフショア開発等)の傾向は、現状・今後ともに「大きな変化はない」とする回答が最多(現状62.5%、今後47.06%)であった。
- ・調達先としては、「中国大陸」が75%で圧倒的に多く、次いで「ベトナム(41.67%)」、「シンガポール以外のASEAN(33.33%)」と続く。

■ グローバル展開の位置付け

「グローバル人材の活用」が60%で最も多く、次いで「グローバル市場の重視」「重要顧客企業のグローバル事業の支援」がそれぞれ33.33%となった。単なる市場獲得だけでなく、人材戦略としての側面が重視されている傾向が見られる。

Part.1 外国人材について



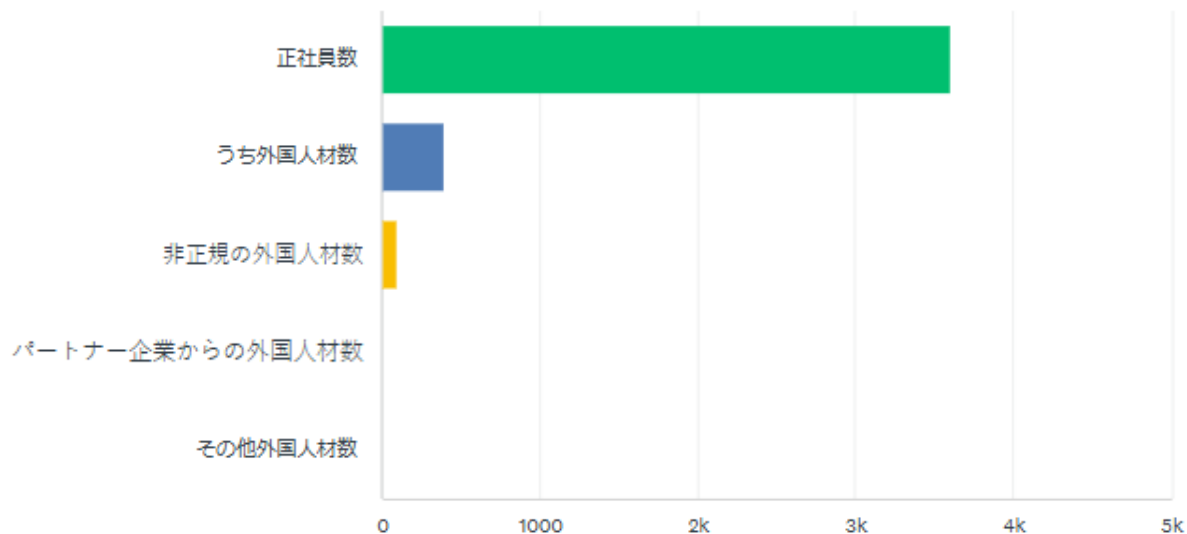
Japan Information Technology Services Industry Association

一般社団法人 情報サービス産業協会

【設問1】

貴社(海外子会社を含むグループ全体)における外国人材の状況(就業数等)について、わかる範囲でお答えください。

回答した人の数: 24 スキップ数: 0



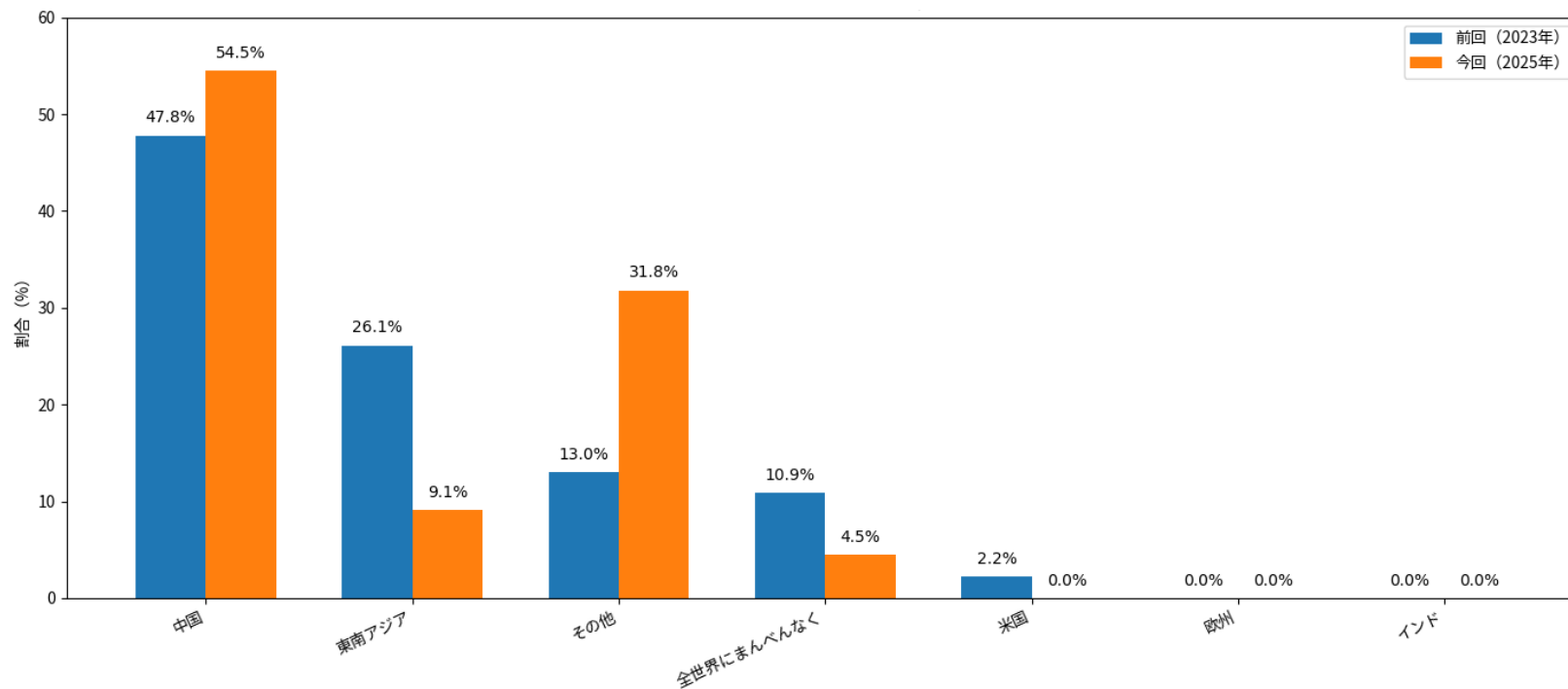
| 回答の選択肢 | 平均数 | 合計数 | 回答数 |
|-----------------|-------|--------|-----|
| 正社員数 | 3,604 | 86,505 | 24 |
| うち外国人材数 | 399 | 9,166 | 23 |
| 非正規の外国人材数 | 92 | 1,572 | 17 |
| パートナー企業からの外国人材数 | 11 | 163 | 15 |
| その他外国人材数 | 0 | 0 | 13 |

回答数: 24

【設問2】

貴社の外国人材はどの地域を中心に分布していますか。(1つだけ選択)

回答した人の数: 22 スキップ数: 2



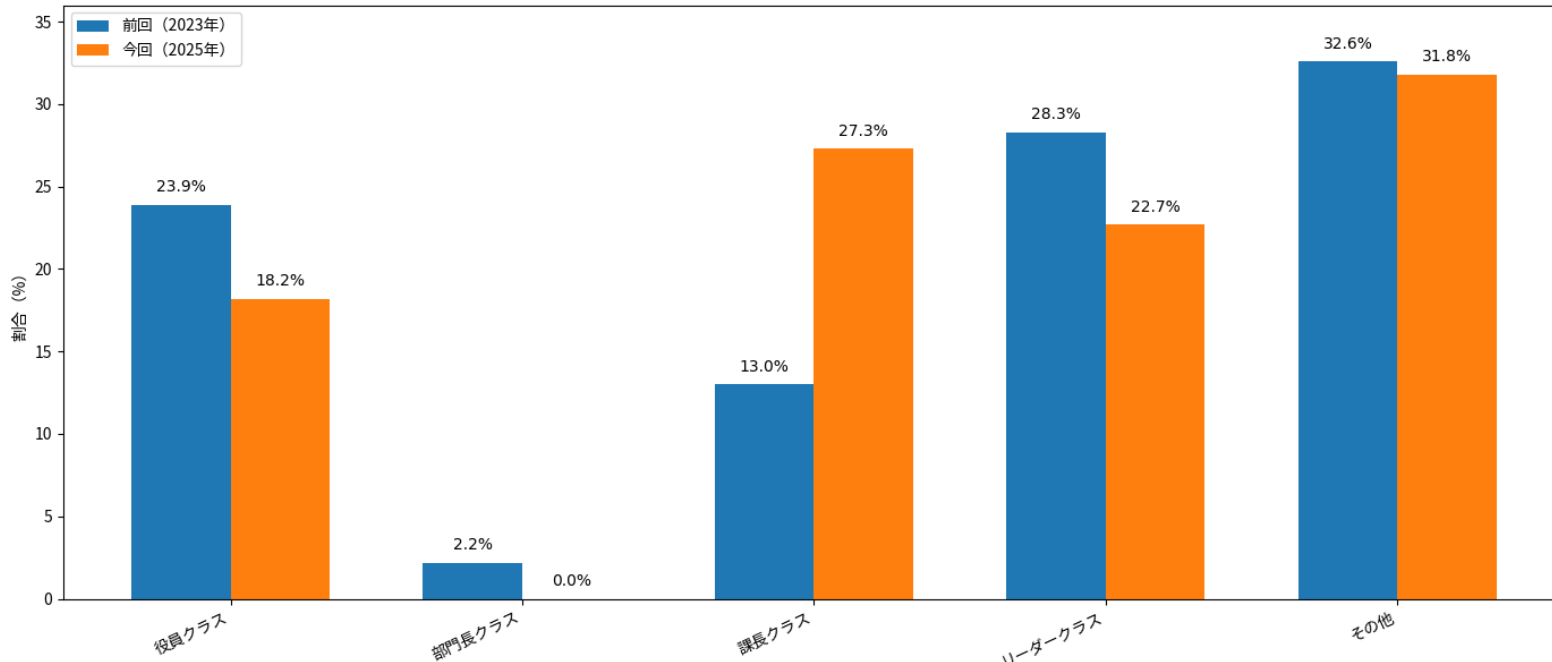
| 回答の選択肢 | 回答数 |
|--------------|--------------|
| ▼ 全世界にまんべんなく | 4.55% 1 |
| ▼ 中国 | 54.55% 12 |
| ▼ 米国 | 0.00% 0 |
| ▼ 欧州 | 0.00% 0 |
| ▼ インド | 0.00% 0 |
| ▼ 東南アジア | 9.09% 2 |
| ▼ その他(具体的に) | 回答数 31.82% 7 |
| 合計 | 22 |

| # | その他 (具体的に) |
|---|-----------------------------------|
| 1 | 中国、米国、インド、東南アジア・ベトナム。(一つだけ選択は難しい) |
| 2 | 韓国 |
| 3 | 非公開 |
| 4 | 中国、韓国、ミャンマー、フィリピン |
| 5 | アジア |
| 6 | 中国、ミャンマーが同数 |
| 7 | なし |

【設問3】

外国人材の中で最も高い職位はどのクラスですか。(1つだけ選択)

回答した人の数: 22 スキップ数: 2

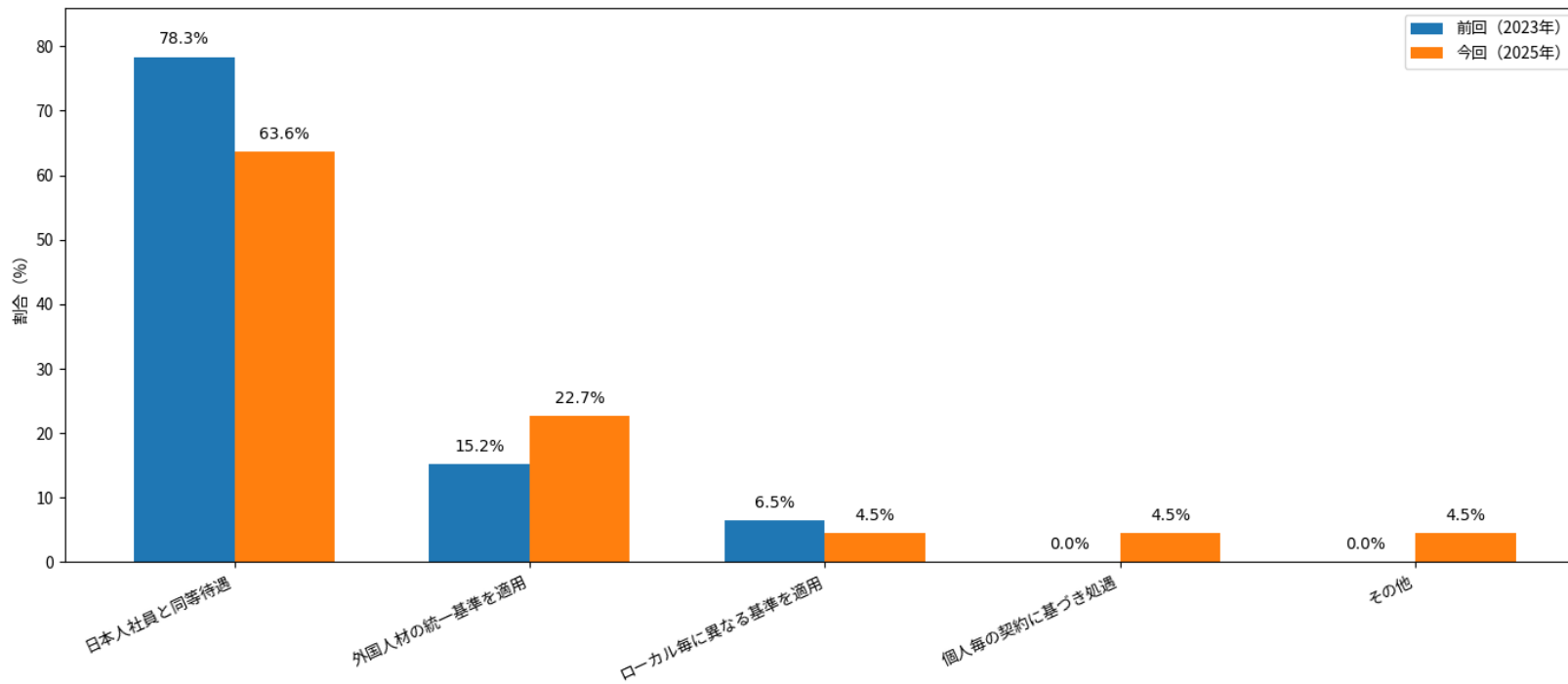


| 回答の選択肢 | 回答数 | # | その他 (具体的に) |
|--------------|------------|----|---|
| ▼ 役員クラス | 18.18% | 4 | 1 海外グループ会社であれば、役員クラスとなる 2 一般職 3 一般 4 非公開 |
| ▼ 部門長クラス | 0.00% | 0 | 5 ITエンジニア、DXエンジニア等 6 今年度の新入社員 (新卒) 7 なし |
| ▼ 課長クラス | 27.27% | 6 | |
| ▼ リーダークラス | 22.73% | 5 | |
| ▼ その他 (具体的に) | 回答数 31.82% | 7 | |
| 合計 | | 22 | |

【設問4】

外国人材の処遇はどのような形ですか。(1つだけ選択)

回答した人の数: 22 スキップ数: 2

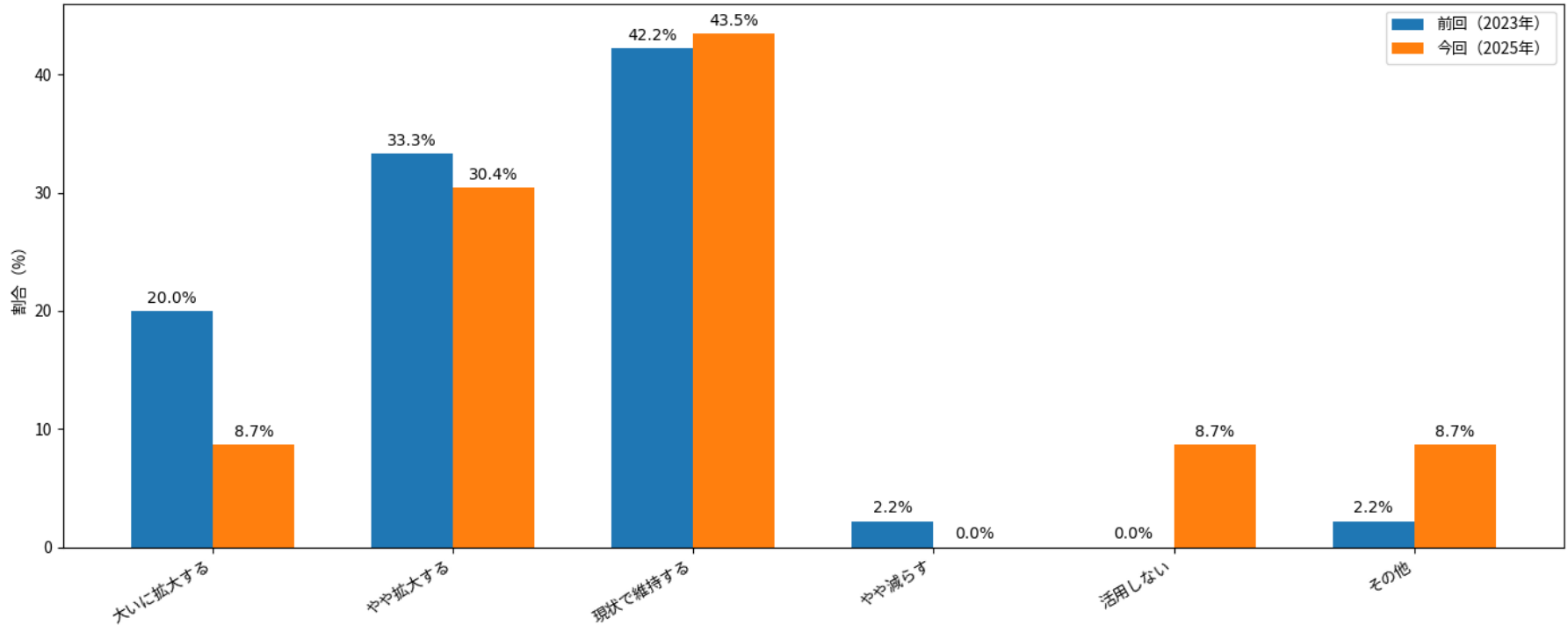


| 回答の選択肢 | 回答数 |
|------------------|-------------|
| ▼ 日本人社員と同等待遇 | 63.64% 14 |
| ▼ 外国人材の統一基準を適用 | 4.55% 1 |
| ▼ ローカル毎に異なる基準を適用 | 22.73% 5 |
| ▼ 個人毎の契約に基づき処遇 | 4.55% 1 |
| ▼ その他 (なし) | 回答数 4.55% 1 |
| 合計 | 22 |

【設問5】

今後の外国人材の活用についてどのようなお考えですか。(1つだけ選択)

回答した人の数: 23 スキップ数: 1



| 回答の選択肢 | 回答数 |
|------------|-----|
| 大いに拡大する | 2 |
| やや拡大する | 7 |
| 現状で維持する | 10 |
| やや減らす | 0 |
| 活用しない | 2 |
| その他 (具体的に) | 2 |
| 合計 | 23 |

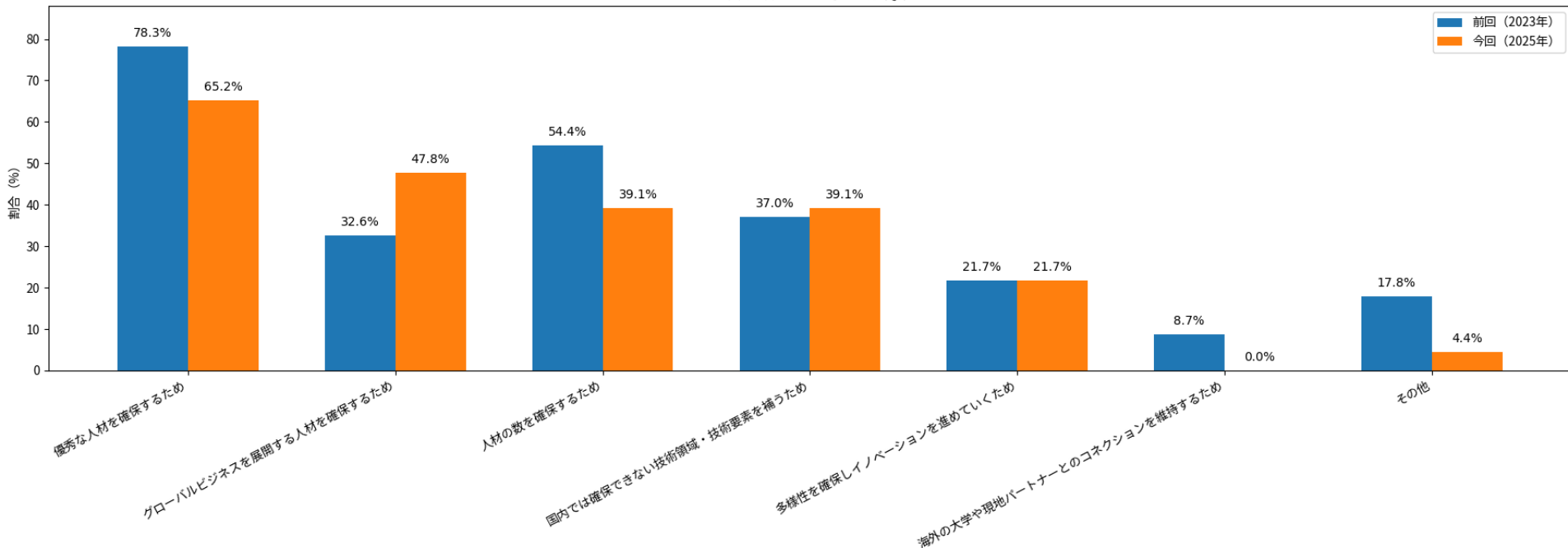
| # | その他 (具体的に) |
|---|---------------------|
| 1 | 検討中 |
| 2 | 業務上必要となった場合のみ新規採用予定 |

【設問6】

貴社が海外人材を活用する主な目的は何ですか。(複数回答)

回答した人の数: 23 スキップ数: 1

外国人材活用の主な目的: 比較 (Q6)

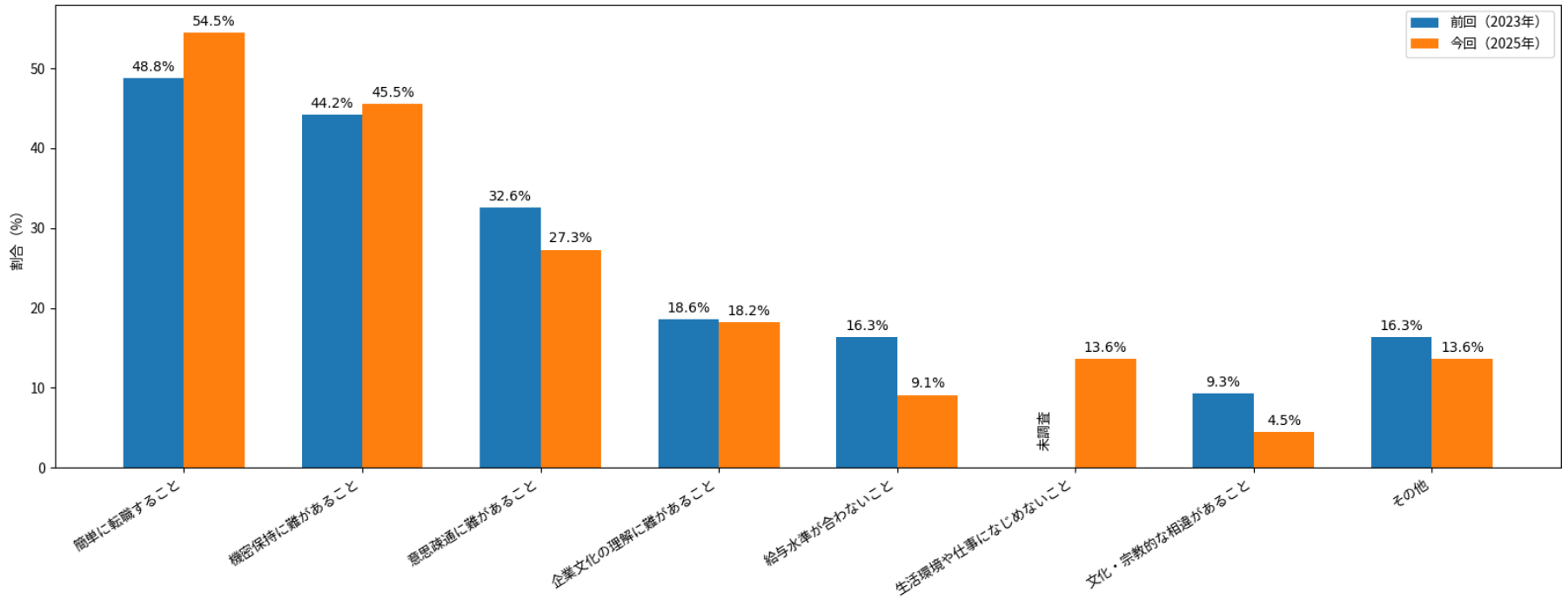


| 回答の選択肢 | 回答数 | 割合 |
|--------------------------------|-----|--------|
| ▼ 優秀な人材を確保するため | 15 | 65.22% |
| ▼ 人材の数を確保するため | 9 | 39.13% |
| ▼ グローバルビジネスを展開する人材を確保するため | 11 | 47.83% |
| ▼ 国内では確保できない技術領域・技術要素を補うため | 5 | 21.74% |
| ▼ 多様性を確保しイノベーションを進めていくため | 9 | 39.13% |
| ▼ 海外の大学や現地パートナーとのコネクションを維持するため | 0 | 0.00% |
| ▼ その他 (なし) | 1 | 4.35% |
| 回答数: 23 | | |

【設問7】

外国人材の確保や処遇にあたっての課題は何ですか。(複数回答)

回答した人の数: 22 スキップ数: 2



| 回答の選択肢 | 回答数 |
|-----------------|--------------|
| 簡単に転職すること | 45.45% 10 |
| 機密保持に難があること | 4.55% 1 |
| 意思疎通に難があること | 54.55% 12 |
| 企業文化の理解に難があること | 27.27% 6 |
| 給与水準が合わないこと | 9.09% 2 |
| 生活環境や仕事になじめないこと | 13.64% 3 |
| 文化・宗教的な相違があること | 18.18% 4 |
| その他 (具体的に) | 回答数 13.64% 3 |

| # | その他 (具体的に) |
|---|------------------------------|
| 1 | 現在は外国人材数が限定的で顕在化している課題は特にはない |
| 2 | 海外労働市場の流動性の高さ、給与水準の上昇 |
| 3 | 日本国籍限定の案件にマッチングできないこと |

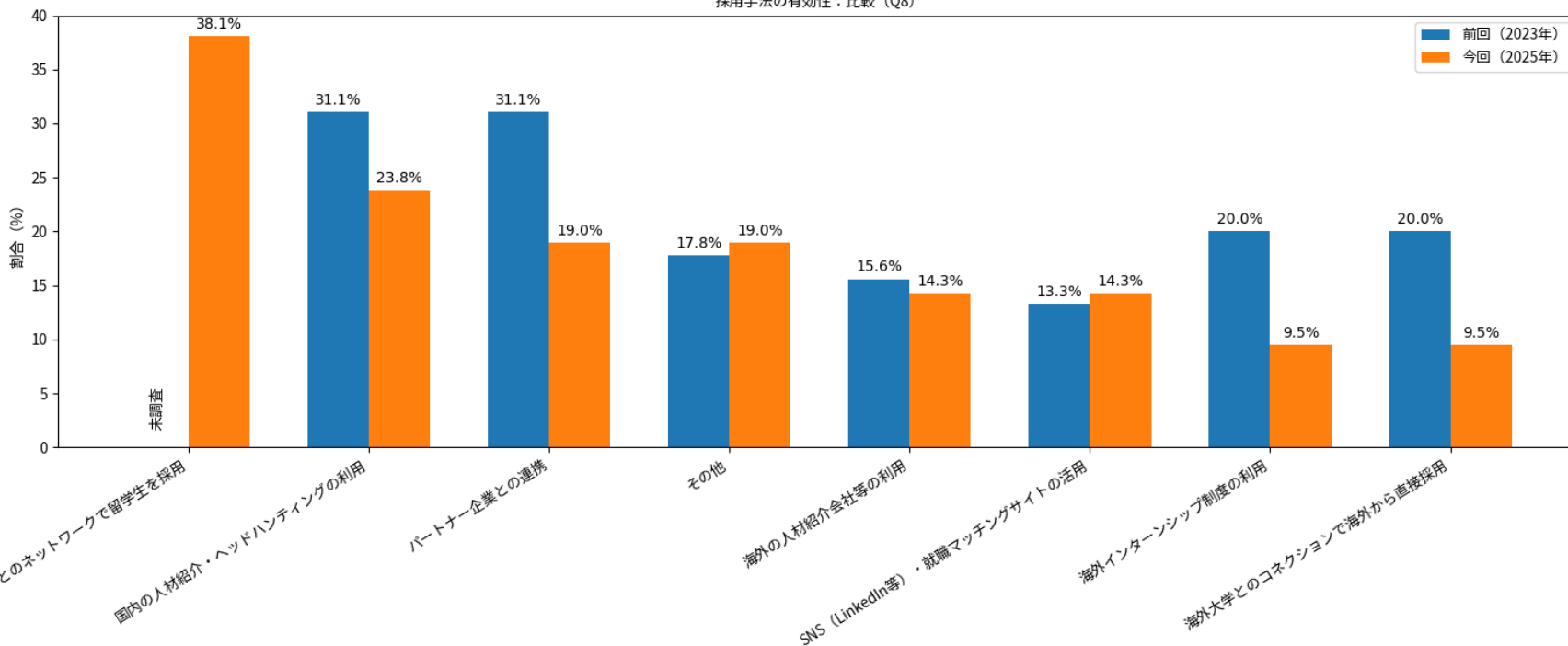
回答数: 22

【設問8】

貴社が外国人材を確保するのに最も有効な方法は何ですか。(複数回答)

回答した人の数: 21 スキップ数: 3

採用手法の有効性：比較 (Q8)



| 回答の選択肢 | 回答数 |
|-------------------------------|----------|
| 海外インターンシップ制度の利用 | 9.52% 2 |
| 国内大学とのネットワークで留学生を採用 | 38.10% 8 |
| 海外大学とのコネクションで海外から直接採用 | 9.52% 2 |
| 海外の人材紹介会社等の利用 | 14.29% 3 |
| 国内の人材紹介・ヘッドハンティングの利用 | 23.81% 5 |
| パートナー企業との連携 | 19.05% 4 |
| SNS (LinkedIn等)・就職マッチングサイトの活用 | 14.29% 3 |
| その他(具体的に) | 19.05% 4 |
| 回答数: 21 | |

| # | その他(具体的に) |
|---|-------------------|
| 1 | 海外グループ会社は現地で各々対応。 |
| 2 | 他社の紹介 |
| 3 | なし |
| 4 | 社員紹介 |

【設問9】

外国人材についてその他ご意見等があればご自由にご記入ください。

- 海外子会社を含むグループ全体での外国人社員は把握できておりません。
設問2～8については、当社単体の外国人社員を対象とし回答しております。

- 過去に外国人留学生を数名採用した実績があるが、入社後日本に帰化しているため、現在外国人の在籍者はいない状況である。同様のケースを想定して、採用選考のエントリーは毎年数名あるものの、採用にまで至っていない。

- スキルがしっかりあり、社風に合いそうであれば、国籍による区別はしていません。

- 積極的に実現していきたい

Part.2 グローバルビジネスについて



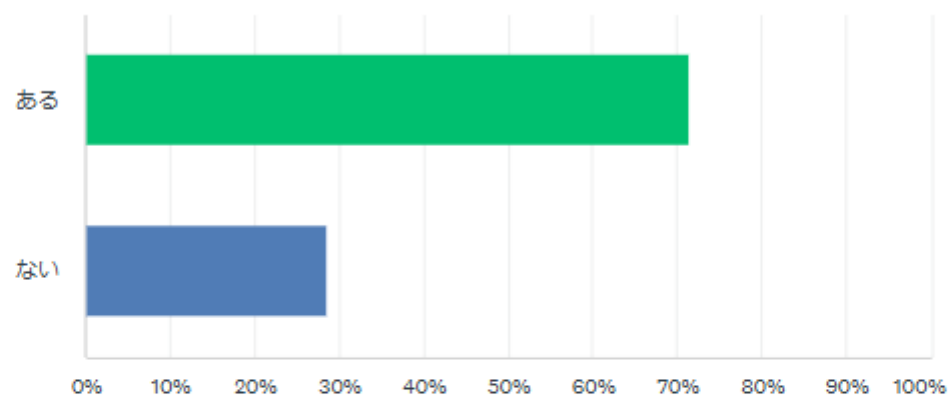
Japan Information Technology Services Industry Association

一般社団法人 情報サービス産業協会

【設問10】

貴社では、海外のIT市場動向について関心がありますか

回答した人の数: 21 スキップ数: 3

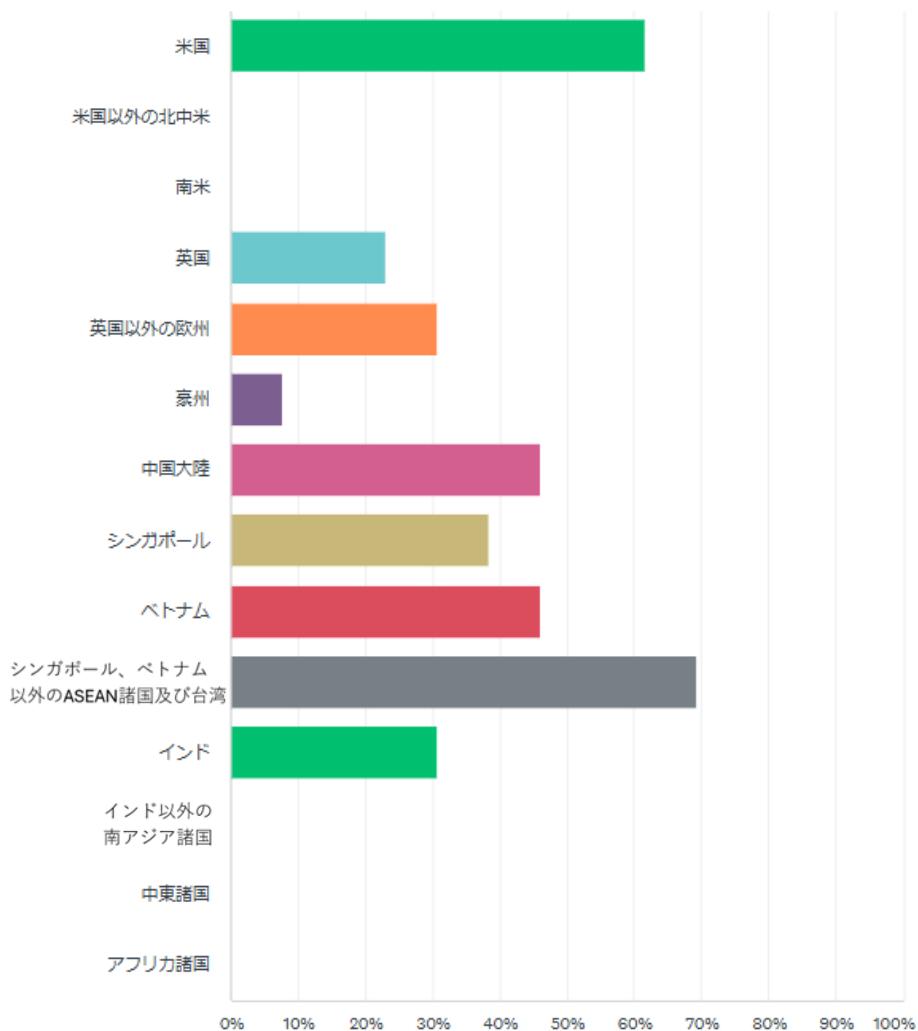


| 回答の選択肢 | 回答数 |
|--------|-----------|
| ▼ ある | 71.43% 15 |
| ▼ ない | 28.57% 6 |
| 合計 | 21 |

【設問11】

設問10であると答えた方は、貴社がグローバルビジネス(人材、市場、ビジネス動向等)情報を収集するにあたり、関心のある国や地域はどこですか？(複数回答可)

回答した人の数: 13 スキップ数: 11



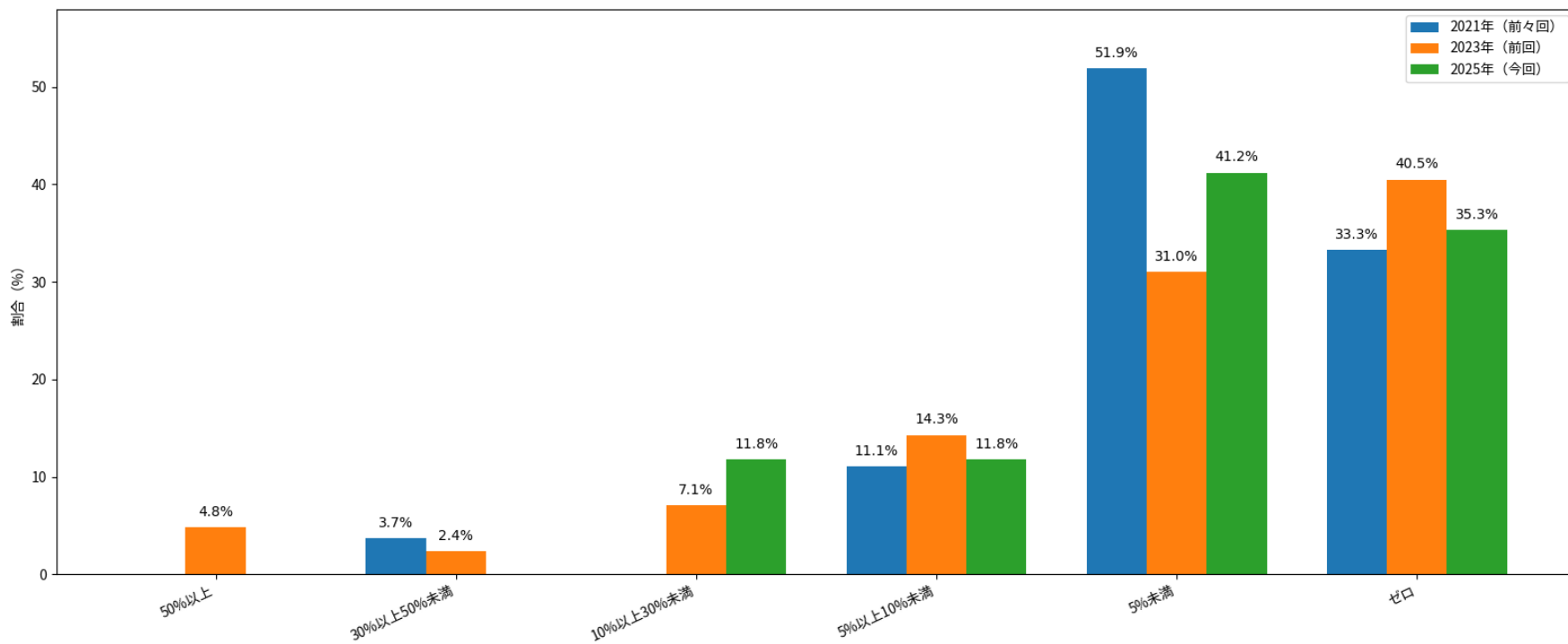
| 回答の選択肢 | 回答数 | 割合 |
|-----------------------------|-----|--------|
| ▼ 米国 | 8 | 61.54% |
| ▼ 米国以外の北中米 | 0 | 0.00% |
| ▼ 南米 | 0 | 0.00% |
| ▼ 英国 | 3 | 23.08% |
| ▼ 英国以外の欧州 | 4 | 30.77% |
| ▼ 豪州 | 1 | 7.69% |
| ▼ 中国大陸 | 6 | 46.15% |
| ▼ シンガポール | 5 | 38.46% |
| ▼ ベトナム | 6 | 46.15% |
| ▼ シンガポール、ベトナム以外のASEAN諸国及び台湾 | 9 | 69.23% |
| ▼ インド | 4 | 30.77% |
| ▼ インド以外の南アジア諸国 | 0 | 0.00% |
| ▼ 中東諸国 | 0 | 0.00% |
| ▼ アフリカ諸国 | 0 | 0.00% |

回答数: 13

【設問12】

現在、グローバルビジネスの売上高は、全売上高(連結ベース)のどの程度ですか(1つだけ選択)

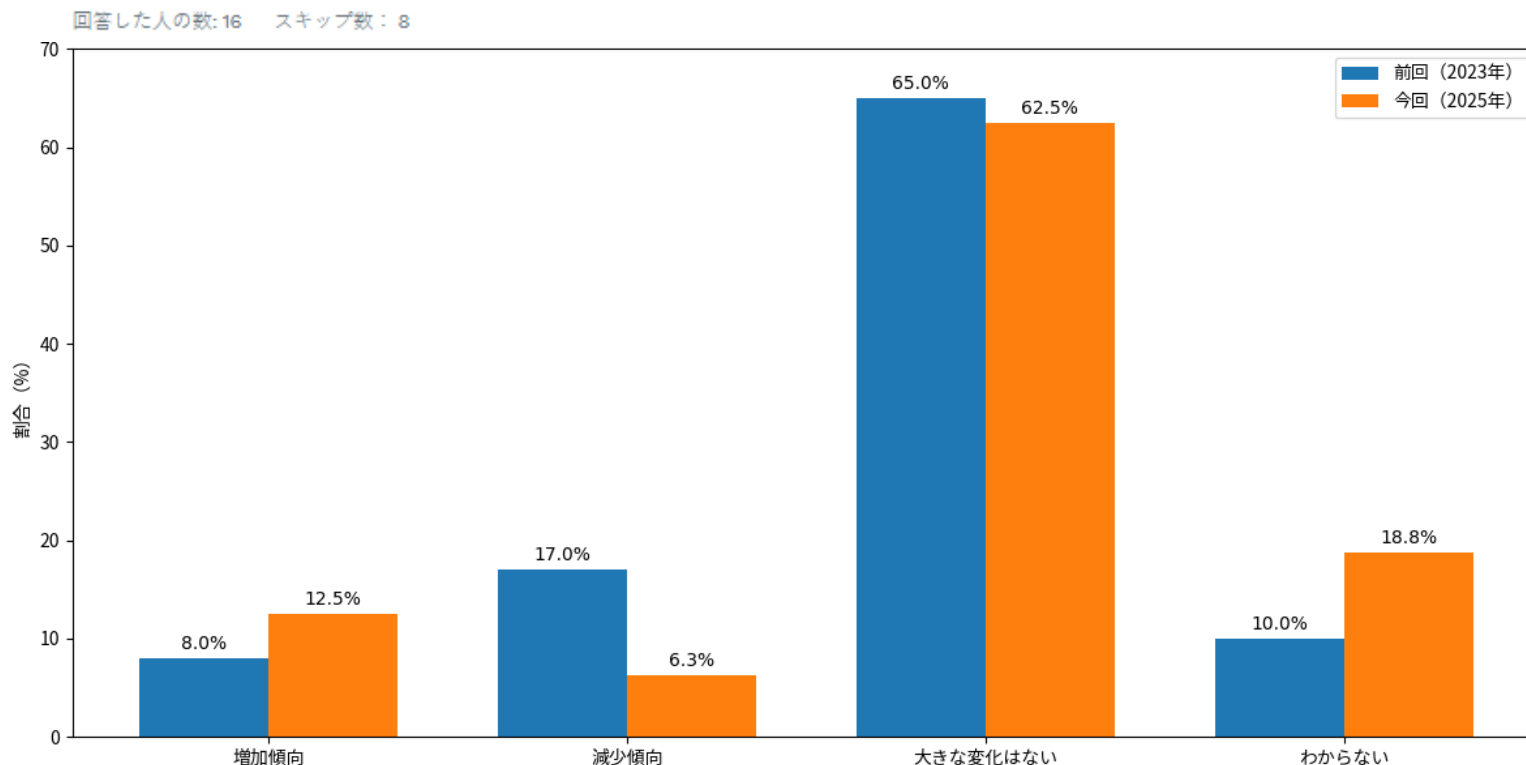
回答した人の数: 17 スキップ数: 7



| 回答の選択肢 | 回答数 |
|--------------|----------|
| ▼ 50%以上 | 0.00% 0 |
| ▼ 30%以上50%未満 | 0.00% 0 |
| ▼ 10%以上30%未満 | 11.76% 2 |
| ▼ 5%以上10%未満 | 11.76% 2 |
| ▼ 5%未満 | 41.18% 7 |
| ▼ ゼロ | 35.29% 6 |
| 合計 | 17 |

【設問13-1 現状(最近の1年)】

現在、貴社のグローバルビジネスのうち、日本向け調達(オフショア開発等)はどのような傾向にありますか。以下より該当するものを、チェックしてください。

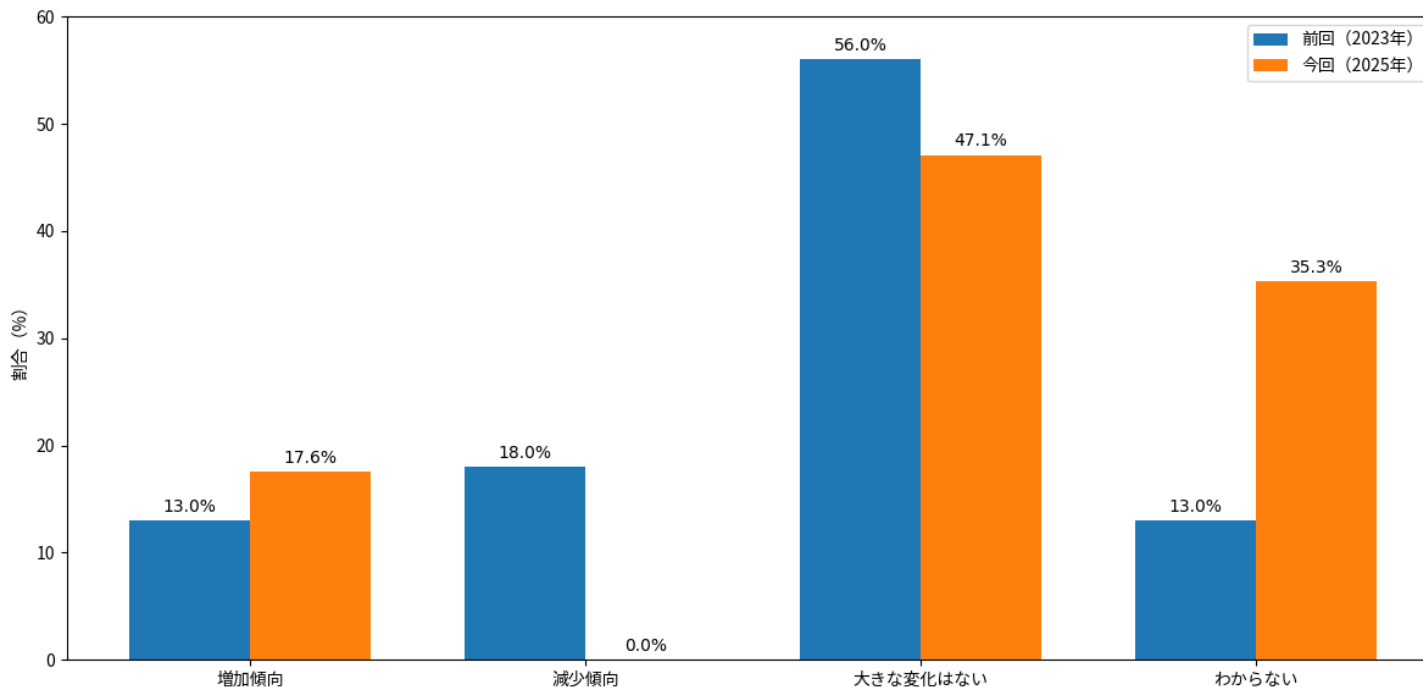


| 回答の選択肢 | 回答数 |
|------------|-----------|
| ▼ 増加傾向 | 12.50% 2 |
| ▼ 減少傾向 | 6.25% 1 |
| ▼ 大きな変化はない | 62.50% 10 |
| ▼ わからない | 18.75% 3 |
| 合計 | 16 |

【設問13-2 今後(これからの1~2年)】

現在、貴社のグローバルビジネスのうち、日本向け調達(オフショア開発等)はどのような傾向にありますか。以下より該当するものを、チェックしてください。

回答した人の数: 17 スキップ数: 7

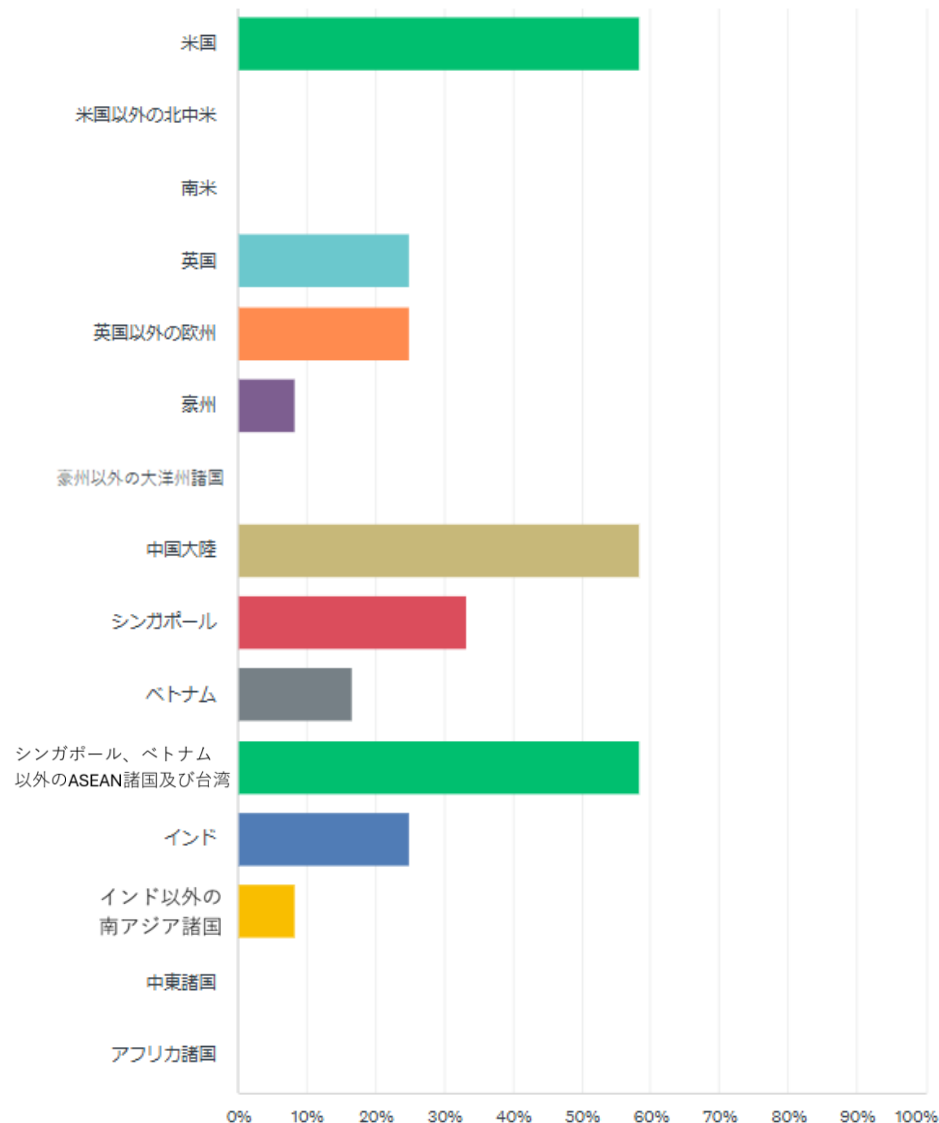


| 回答の選択肢 | 回答数 |
|------------|----------|
| ▼ 増加傾向 | 17.65% 3 |
| ▼ 減少傾向 | 0.00% 0 |
| ▼ 大きな変化はない | 47.06% 8 |
| ▼ わからない | 35.29% 6 |
| 合計 | 17 |

【設問14】

現在、貴社のグローバルビジネスのうち「ITサービス(SI/システム開発/クラウドサービス)/ソフトウェア販売」について、現地で営業活動をしている地域にチェックをつけてください。(複数回答可)

回答した人の数: 12 スキップ数: 12

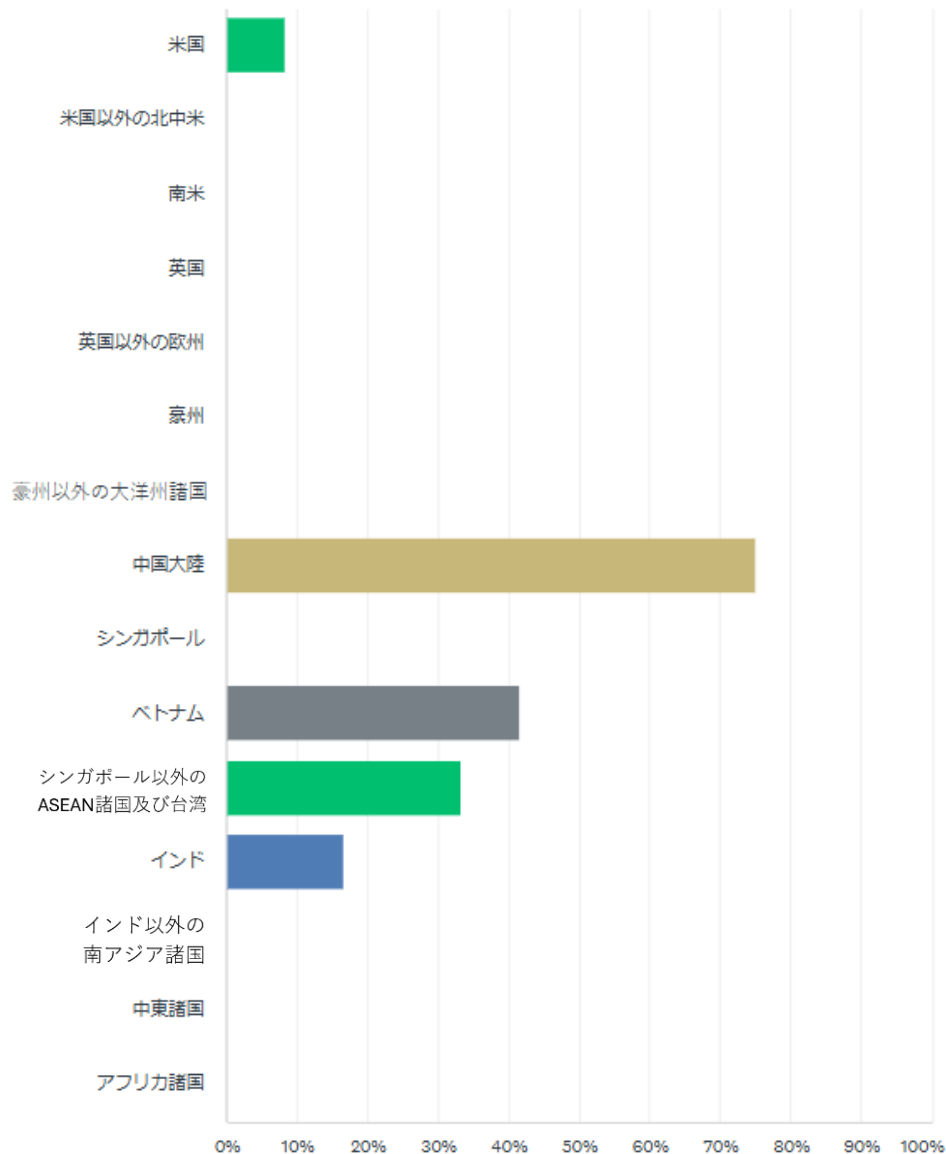


| 回答の選択肢 | 回答数 | 割合 |
|------------------------------|-----|--------|
| ▼ 米国 | 7 | 58.33% |
| ▼ 米国以外の北中米 | 0 | 0.00% |
| ▼ 南米 | 0 | 0.00% |
| ▼ 英国 | 3 | 25.00% |
| ▼ 英国以外の欧州 | 3 | 25.00% |
| ▼ 豪州 | 1 | 8.33% |
| ▼ 豪州以外の大洋州諸国 | 0 | 0.00% |
| ▼ 中国大陸 | 7 | 58.33% |
| ▼ シンガポール | 4 | 33.33% |
| ▼ ベトナム | 2 | 16.67% |
| ▼ シンガポール、ベトナム以外のASEAN諸国および台湾 | 7 | 58.33% |
| ▼ インド | 3 | 25.00% |
| ▼ インド以外の南アジア諸国 | 1 | 8.33% |
| ▼ 中東諸国 | 0 | 0.00% |
| ▼ アフリカ諸国 | 0 | 0.00% |

回答数: 12

【設問15】

現在、貴社のグローバルビジネスのうち「オフショア開発」「運用／BPO／コールセンター」について、日本向け調達実績のある地域にチェックをつけてください。(複数回答可)



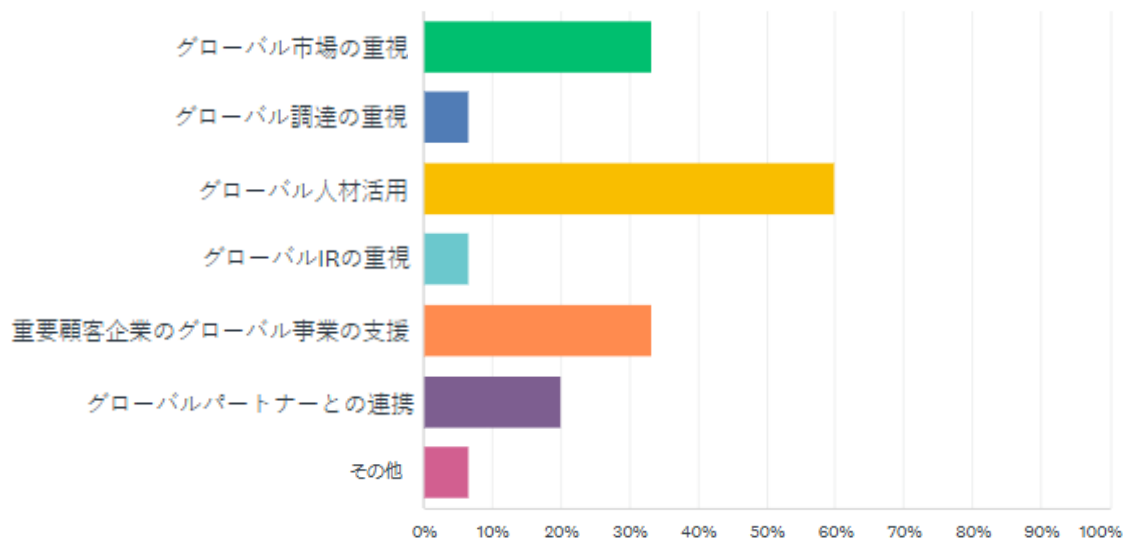
| 回答の選択肢 | 回答数 | 割合 |
|------------------------|-----|--------|
| ▼ 米国 | 1 | 8.33% |
| ▼ 米国以外の北中米 | 0 | 0.00% |
| ▼ 南米 | 0 | 0.00% |
| ▼ 英国 | 0 | 0.00% |
| ▼ 英国以外の欧州 | 0 | 0.00% |
| ▼ 豪州 | 0 | 0.00% |
| ▼ 豪州以外の大洋州諸国 | 0 | 0.00% |
| ▼ 中国大陸 | 9 | 75.00% |
| ▼ シンガポール | 0 | 0.00% |
| ▼ ベトナム | 5 | 41.67% |
| ▼ シンガポール以外のASEAN諸国及び台湾 | 4 | 33.33% |
| ▼ インド | 2 | 16.67% |
| ▼ インド以外の南アジア諸国 | 0 | 0.00% |
| ▼ 中東諸国 | 0 | 0.00% |
| ▼ アフリカ諸国 | 0 | 0.00% |

回答数: 12

【設問16】

現在、貴社のグローバル戦略におけるグローバルビジネスの位置付けに近いものにチェックをつけてください。(複数回答)

回答した人の数: 15 スキップ数: 9



| 回答の選択肢 | 回答数 |
|---------------------|----------|
| ▼ グローバル市場の重視 | 33.33% 5 |
| ▼ グローバル調達重視 | 6.67% 1 |
| ▼ グローバル人材活用 | 60.00% 9 |
| ▼ グローバルIRの重視 | 6.67% 1 |
| ▼ 重要顧客企業のグローバル事業の支援 | 33.33% 5 |
| ▼ グローバルパートナーとの連携 | 20.00% 3 |
| ▼ その他 | 6.67% 1 |

回答数: 15